

2019(令和元)年度第1回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会

いがまち地域部会 議事概要

■開催日時 2019(令和元)年12月4日(水) 午後7時～午後8時20分

■開催場所 伊賀支所2階・第2委員会室

■出席者 (敬称略)

【委員】

岡島 茂男(柘植地域区長代表)、奥澤 重久(西柘植地域まちづくり協議会 会長)、沖島 信幸(西柘植地域区長会 会長)、界外 直樹(壬生野地域まちづくり協議会 会長)、

亀井 直文(壬生野地域区長会 会長)

【事務局】

伊賀支所 支所長 居附 秀樹、振興課 課長 前川 一幸

副参事 西森 徹

交通政策課 課長 福岡 秀明、副参事 吉岡 徹也、

主査 吉福 将徳

■傍聴者 2人

■会議概要

1. 開会

居附支所長 挨拶

2. 部会長、副部会長の互選について

(互選結果・敬称略)

部会長 界外 直樹(壬生野地域まちづくり協議会会長)

副部会長 奥澤 重久(西柘植地域まちづくり協議会会長)

3. 協議事項

(1) 行政バスへの回数券及び定期券の導入について

事務局から資料1に基づき説明

【質疑応答】

部委員	免許返納者への割引はどうか。
事務局	利用促進というよりも交通安全の施策ですので、所管課を中心に市内部で検討をしているところです。
部委員	回数券の有効期限がわかりにくくないか。
事務局	丁寧に説明していきたいと思います。
部委員	回数券や定期券は支所でしか売らないのか。
事務局	支所、本庁およびハイトピア伊賀にある三重交通の営業所で販

	売を予定しています。
部委員	市のコミュニティという観点から、どこでも乗ることができるのは良いことだ。

【承認】

- (2) 伊賀市地域公共交通網形成計画に基づく廃止代替バス路線の再編について
事務局から資料2に基づき説明

【質疑応答】

部委員	利用者の需要と合っているのか。利用したい路線なのか。JRの駅を起点にしたものは残す必要がある。いずれにしても、この見直しがすべてでは困る。
事務局	地域公共交通網形成計画に基づき、既存路線をできる限り残したいと考えて検討をしています。
部委員	希望ヶ丘に住んでいた人が、バスがないため大阪へ帰ってしまっている事例もある。
事務局	いがまの行政バスは、しばらくダイヤも変わっていないと思う。時代の需要も変わってきているので、ご意見を頂戴しながら支所で検討していきます。
部委員	企業の地域貢献として、協力を依頼してはどうか。
部委員	今日はバスの話だが、JRも伊賀上野から柘植まで活性化されるとありがたい。
事務局	関西本線の利用促進団体で、ダイヤの維持を前提に粘り強く要望しています。なんとか維持、存続を訴えていきたいと思っています。
部委員	草津線で、京都へ直通する列車は便利だ。なんとかアクセスする便が将来的にできれば。
事務局	草津線で、貴生川止めの列車があるので、通勤・通学の時間帯だけでも柘植まで延伸してほしいと申し上げています。それが延びてくることで、関西本線の利用にもつながると思っています。

【承認】

4. 報告事項

- ・（仮称）伊賀市地域公共交通網形成計画の策定について
事務局から資料3に基づき説明

【質疑応答】

部委員	アンケートの回答に、利用したくても駅・バス停が遠いとのことがある。神戸の地域運行バスのようなフリー乗降制度を、他地区でもできないのか。
事務局	阿山の行政バスは実施を予定しています。先ほども支所で行政バスについて改善に努めるという話がありましたので、公安委員会や三重運輸支局と協議の上、安全面の確保をしながら、そういった制度の検討もできればと思います。

5. その他

【質疑応答】

部委員	スクールゾーンについて、市としてどう考えているのか。その辺の施策を出してもらえるとありがたい。
事務局	県、市、警察が入った協議の中で優先順位を付けて実施していくので、まちづくり協議会の皆さんにもその中に入っていただき、ご協力いただければと思います。

（終 了）